



地区社協と共に

地区社協 & トモニー

Vol.04

“地区社協&トモニー”は、地区社協へ向けて区社協が発信する、不定期のトピックス！
トモニーの名前の由来のように、『共に』歩み、『共に』福祉を進めて行きたいと願って。

編集：南区社協 Tel.260-2510

It's New!

～地区社協 方面別 活動発表会～

“地区社協だからできること” “地区社協ならではの役割”

地区活動を学びあう場として、今回はじめて“方面別 活動発表会”を実施しました。

近隣の5地区程度を単位として、これからの3年間、各方面で順次開催していきます！

第一弾は南区東部方面の5地区(お三の宮・寿東部・中村・堀ノ内陸町・蒔田)が対象。当日は、対象地区以外からの方も合わせて70名近くの参加者で会場はいっぱい。暖房が必要ない程の熱気でした。

*日時:平成20年2月23日(土)
午後2時～午後3時30分

会場:浦舟地域ケアプラザ 多目的ホール



「アソコとココの活動くっつけたら、おもしろいかも?!」
「知り合いでこんな奴がいて…」
「あれ、君の親父とオレって同級生だよ!」
そんな点や線は、暮らしの中でこそ見つかるもの!

《 基調講演 》

“地区社協だからできること”

“地区社協ならではの役割”

講師:牧岡英夫氏(共育ひろば主宰)

町内会は、“面”への支援からはじまるが、地区社協は“点”として存在する課題への支援からはじまる。そして、その点を“面”にしていくこと、また支援する側が“線”であり、“面”となっていくことが、大きな特徴という話がありました。

○ 地区社協は、“点”から“線”“面”への活動!

“点”(一人ひとりのニーズ、当事者活動)を結び、困難(課題)を解決する当事者と支援者の協働活動にしていく。

○ “時間軸”“線”こそ地域の財産!

“点”“線”をつなぎ、支援ネットワーク活動という“面”にしていく。

点や線は、あたらしく作るばかりでなく、地域(暮らし)の中に既にある場合も沢山!!
それを見つけられるのは時間軸(今までの暮らし)の中にいる住民ならでのこと。



《地区発表》

対象5地区から、平成19年度モデルである中村地区社協と、企画委員会をつくってサロン事業に取り組んでいる堀ノ内睦町地区社協より、活動発表が行われました。

①中村地区社協 黒部一允氏(地区社協事務局長)

「小さな輪を、大きな輪へ！」

～ふるさとづくりの取組み～

在日外国人が多い地区。「外国人が住みやすい町は、誰もが住みやすい町」という考えのもと、外国人も一緒に“中村がふるさと”とを感じる町にしたい！



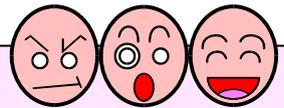
②堀ノ内睦町地区社協 亀山一氏(サロン企画委員長)

「暮らし広がれ堀睦事業」

～住民同士が協働し、安全で住みやすいまちづくりにむけて～

キーワードは「住民の生活を視点を、点から線へ、面へ」。

町会や社会資源（地域ケアプラザ）の力を活用しながら、人が集う企画を考え、思いを共有。更に一般住民の参加を募りながら、コミュニティの土台づくり…。こうして、暮らしが広がっていく！



ふくしワンポイント ♥ 「総会資料を、ひと工夫！」

総会シーズン！

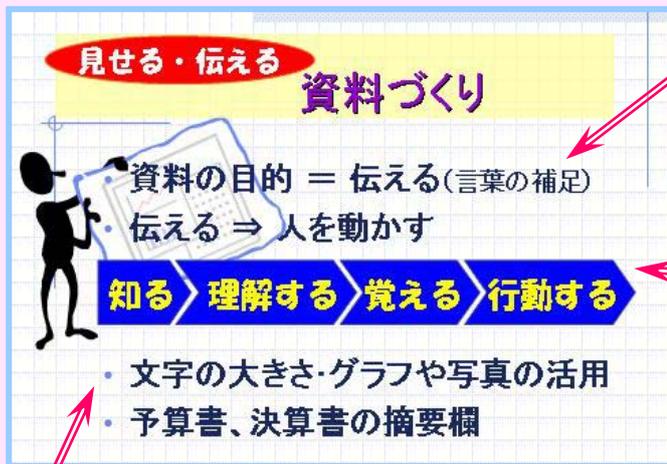
年度変わりのこの時期、準備するのも忙しいですね。

また、総会当日も、連合町内会との合同開催の場合は、時間に限りもあります…。

でも！ 総会は、地区社協の活動をアピールする絶好のチャンスです。

『去年の日付と数字を修正して…』そのお気持ちは分かりますが、

ちょっとひと工夫して、【人の心を！カラダを！動かす資料】を目指しませんか？



視覚に訴える・後から見返すことができることが「資料」のメリット。

口頭の説明で資料を補うのではなく、口頭で説明しきれないことを資料で補足するように活用してみませんか？

人に物事が伝わり、行動するまでには4つの段階があります。

地区社協活動を理解し、協力して貰うためには、「例年どおり…」では、ちょっとインパクトが弱いですね？

事業報告に写真を一枚載せるだけで、事業の様子が立体的になってきます。

収入・支出の内訳を円グラフにしてみるなど、伝えたいポイント部分だけでも、ひと手間かければ、効果は2倍3倍に！

『そうは言っても、やっぱり大変！』といった場合は、発行済みの広報紙を再配布するだけでも、印象がぐっと変わりますので、是非お試しください。

詳しくは…

区社協では、地区社協担当職員が個別にご相談に応じています！